



市民自治をめざす 2008.9.20 号外 30号 1000人の会 NEWS

発行 市民自治をめざす1000人の会 住所 〒271-0092 千葉県松戸市松戸1879-24 ほくとビル5F
Tel&Fax 047-360-6064 E-mail shinji-1000party@msj.biglobe.ne.jp
郵便振替口座 00130-0-76000 http://www5b.biglobe.ne.jp/~matsudo

松戸市立病院が危ない！

銚子市立病院休止問題が問いかけるもの

銚子市立病院が医師不足で休止に追い込まれ、地域医療の崩壊という最悪のシナリオが大きな話題となっています。

日本の医療制度は、国民皆保険制度といかなる医療機関でも受診できるフリーアクセス制度のもと、世界最高水準の平均寿命や高い保険医療水準が実現されてきたと言われていています。ところが、小泉政権は医療の構造改革を推進し、05年に医療費の削減に向けた「医療制度改革大綱」を決定。特に、06年4月から実施された診療報酬の3.16%の引き下げは、全国的に公立病院を直撃し、医療崩壊に拍車をかけることになりました。

■松戸も例外ではない！

医師・看護師不足（08.7月末）では、二つの市立病院で医師119名のところ7名欠、看護師513名のところ49名欠。表面的には医師不足は深刻に見えませんが、個別には、精神科の外来休止、循環器科、消化器科に大きな影響が出ています。

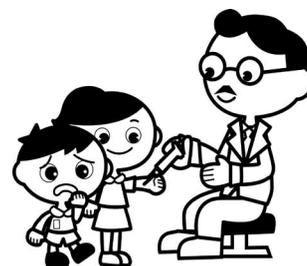
この3年間の収支状況では、05年度で6億213万円の赤字、06年度で4億364万円の赤字、07年度で3億7700万円の赤字です。一般会計から、05年度23億円、06年度27億円、07年度33億円の繰入がおこなわれています。

こうした中で、昨年11月総務省は、全国の多くの公立病院が赤字経営に転落し、存亡の危機に立たされている中で、「公立病院改革ガイドライン」を提起し、各自治体に『公立病院の改革プラン』を提示し、経営の効率化、再編ネットワーク化、経営形態のあり方の策定を求めました。

自治体病院が危機的状況を受けて、腰の重かった千葉県も動き出しました。9月に知事を本部長とする「県自治体病院支援対策本部」が設置されました。

■市立病院建て替え問題が、最大の課題に！

上本郷にある市立病院は、市内に大きな民間病院がない1950年にスタートし、06年には、診療科目23科、一般病床605床で、東葛北部保険医療圏における基幹病院として重要な役割を果たしています。



赤字経営問題と市立病院の建替え問題が、松戸市政を揺るがす大きな問題となっています。阪神淡路大地震後の耐震基準の見直しによって建替えを余儀なくされ、行政は建替えのために「新病院整備基本構想」（06年6月）、「新病院整備基本計画について」（07年3月）等々を提案しています。市議会内にも「市立病院建設特別委員会」が設置され、視察や設置場所等の検討をしてきました。

ところが、新病院の設置場所や経営・運営主体問題をめぐって、06年6月の市長選以来、議会と川井市長の対立が大きくなっています。この対立状況は解消されず、現地建替えの基本設計や実施設計などが提案されず、建替えの目安がたちません。背景には、市立病院の存続に対する考え方の違いが存在しています。

■利用者・市民が提案するとき！

地域医療にとって市立病院の役割は何か、建替え問題をどう考えるべきか、利用者・市民も真剣に考える時が来ています。銚子市立病院の全面休止問題は明日の松戸市立病院の姿かもしれません。早急に「地域医療と市立病院問題を考える会」（仮称）の立ち上げを進めたいと思います。ご協力ください。

土地収用法手続きの開始に抗議し、 『関さんの森道路案』を支援する賛同署名を!

8月7.8両日、マスコミ報道でも大きく取り上げられましたが、松戸市は都市計画道路(市道)で、千葉県でも初めての土地収用法に基づく立ち入り調査を強行しました。前代未聞の強硬手段に強く抗議します。

●関さんの森エコミュージアムへの松戸市の土地収用法攻撃の動き

①7月20日、関さんの森エコミュージアム(関さんの森、関さんの屋敷と屋敷林、梅林、こどものひろば、畑等々)設立。21日、新松戸の流通経済大学講堂でエコミュージアム設立記念シンポジウムが520名の市民参加で盛大に開催。

②7月24日、松戸市は都市計画道路3.3.7号線整備事業における未買収区間約193mについて、土地収用法に基づく事務手続きに入ることを決定。地権者との話し合いを中止、一方的な土地収用法による手続き開始は、地権者との信頼関係を崩壊させました。行政の言う「市民参加・市民との協働」がいかにかまやかしか、川井市政の本質が見えた。

③8月7日(木)午前9時から、市役所職員と測量会社社員合わせて76人と関さんの支援者120人ほどが測量をめぐって対峙。地権者や関係団体が抗議声明。市側は、関さん宅には入れないまま、立ち入り調査を2日間で終了。この蛮行を多くのマスコミが報道。

④8月25日、松戸市議会は全員協議会を開催し、土地収用法に基づく立ち入り調査に踏み切った経過を聞く。松戸市は、44年も前に決定した都市計画道路の強行を宣言。

⑤9月1日、地権者の関美智子さん・啓子さん姉妹と関さんの森を育む会、関さんの森エコミュージアムは、環境と道路の調和をふまえた『関さんの森道路案』を松戸市長に提出。話し合い解決を強く求める。

⑥9月3日から開会された松戸市議会9月定例会一般質問で、4人の議員がこの問題を取り上げる。都市計画道路の強行を主張した市川議員の質問に

答弁した川井市長は「エコミュージアムが設立されたことで地権者との話し合いが不可能になったと判断し、土地収用法に踏み切る決断をした。ところが9月1日に『関さんの森道路案』が道路関係の専門家も関って作成・提案されたので歓迎している。9月17日に、道づくり課の職員と提案された専門家との話し合いをすることにした。その上で判断したい」と期待を寄せた。

⑦松戸市は話し合いの結果、調整が不可能と判断すれば、12月にも土地収用法申請の決済をする予定。

●『関さんの森道路案』を支持し、話し合い解決を求めます!

私たちは、地権者との信頼関係を崩壊させた松戸市の土地収用法攻撃に強く抗議します。あくまでも環境と道路が調和できる道路案を求めます。地権者、関さんの森を育む会、関さんの森エコミュージアムの活動を支援し、土地収用法攻撃が如何に間違った手法かを市側に示していくために、『関さんの森道路案』賛同の署名を11月中旬まで全力で取り組みます。

そのために、9月18日(木)夜、多くの市民団体・政治団体等で「関さんの森を守る松戸市民応援団」を発足させました。2ヶ月足らずで、5万筆の署名を集めるために、松戸市民はもとより、全国から『関さんの森道路案』を支援する賛同署名を集めます。賛同署名にご協力ください。



関さんの森への強制立ち入り調査(2008年8月7日)